

平成15年度演習林年報

<https://doi.org/10.15017/18620>

出版情報：年報（九州大学農学部演習林年報）．2003, 2005-03-23. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

IV. 福岡演習林

A. 活動概要

1. 研究

平成15年度福岡演習林を利用して行われた主な研究は以下の通りである。

(1) 固定試験地(新規設定及び継続について)

- ①スギ人工林の炭酸ガス固定機能の評価に関する研究(森林生態圏管理学講座)
- ②ケヤキヒトスジワタムシの天敵について(動物昆虫学講座)
- ③ケヤキヒトスジワタムシと寄生植物との同時性について(動物昆虫学講座)
- ④外来植物に対する在来昆虫の適応(動物昆虫学講座)
- ⑤外来植物に対する在来昆虫の適応(動物昆虫学講座)
- ⑥外来植物に対する在来昆虫の適応(動物昆虫学講座)
- ⑦埋立廃棄物が地表面温度に与える影響(環境システム科学研究センター)
- ⑧常緑広葉樹林地における水循環過程の定量的評価に関する研究(流域環境制御学講座)
- ⑨落葉広葉樹林地における水循環過程の定量的評価に関する研究(流域環境制御学講座)
- ⑩継続的な森林調査に基づく福岡演習林の森林資源推定(森林機能制御学講座)
- ⑪木造建造物文化財用大径・高品位ヒノキ材生産のための保育技術に関する研究(森林生態圏管理学講座)
- ⑫福岡演習林内の広葉樹のLAIに関する研究(森林機能制御学講座)
- ⑬森林流域における水・熱・物質動態に関する研究(森林生態圏管理学講座)

(2) 研究調査利用

- ①生態系における環境放射能の移動に関する研究(アイソトープ総合センター)
- ②スギBACライブラリーの作成とそれに利用した集団遺伝学的研究(理学研究院生物科学部門)
- ③福岡市圏における熱環境のモニタリング(総合理工学府大気海洋環境システム講座)
- ④溪流魚を指標とした溪流環境に関する研究(森林機能制御学講座)
- ⑤ユーカリの成長量に関する研究(森林機能開発学講座)
- ⑥天然更新に関する研究(森林生態圏管理学講座)
- ⑦森林害虫に関する研究(福岡県森林林業技術センター)
- ⑧マツクイムシ発生予察調査(福岡県森林林業技術センター)

(3) 研究資料提供

- ①トンボ類の個体数変動ならびに多型の構成比に関する研究(理学研究院生物科学部門)
- ②バイオインディケーターとしてのアリの種多様性(熱帯作物環境学講座)
- ③ヒノキ晩材仮道管S2層のMFAの樹高方向における変動(森林機能開発学講座)
- ④シイタケ栽培の安定化に関する研究(森林生態圏管理学講座)

(4) データ提供

- ①九州大学農学部附属演習林所属国有財産(立木)の鑑定評価に関する調査(九大管財課)
- ②津山教育科学博物館の奨学生向け学習プログラム(岡山県マルチメディア研究会)

B. 試験調査資料

1. フェノロジー調査

全国大学演習林協議会の共同研究である樹木フェノロジー調査を、9・10林班内のミズナラ、クヌギ、コナラ、ソメイヨシノ、コブシ、ポプラの6樹種各1本を対象に行っている。継続して2003年度の開葉・開花等の状況を調査した結果は下表のとおりである。

(長 慶一郎)

表-1 標本木の開葉・開花・紅葉及び落葉日

樹 種	開 葉	開 花	紅 葉	落 葉
ミズナラ	2003. 3. 28 2004. 3. 15	—	2003. 7. 14	2003. 12. 1
クヌギ	2003. 4. 4 2004. 3. 30	—	2003. 8. 25	2003. 12. 15
ソメイヨシノ	2003. 3. 31 2004. 4. 9	2003. 3. 24 2004. 3. 18	2003. 6. 9	2003. 11. 4
コナラ	2003. 3. 31 2004. 4. 9	2003. 3. 31 2004. 4. 9	2003. 8. 12	2004. 2. 9
コブシ	2003. 3. 31 2004. 3. 25	2003. 3. 24 2004. 3. 16	2003. 8. 25	2003. 12. 25
ポプラ3	2003. 3. 28 2004. 3. 30		2003. 8. 18	2003. 10. 6

注1：樹木全景写真に基づく判定

注2：開葉，紅葉，開花は開始日，落葉は終了日

注3：ミズナラは下方から全体に広がった枯れによる黄葉を紅葉日とした

注4：ソメイヨシノは虫害による黄葉を紅葉日とした

注5：ポプラ1・2は強風により伐採したため観察対象外とした